

中国養老産業の今後

今年も終盤を迎える中、中国高齢化社会は来年度で18年目を迎えようとしています。中国の60歳以上人口は昨年末時点です。2億3000万人に達し、全人口の16・7%を占め、65歳以上人口は1億5000万人と全人口の10・8%に達し、益々増えていきます。

それに比例し、14年から50年までに高齢人口のGDPに占める割合は8%〜33%増加するという統計が出されています。誰の目から見ても確実に広がる養老産業に期待を寄せ、多くの投資家や起業家が新規参入しています。

今年1月から11月まで

に3789件の養老サー

ビス企業が新たに設立されました。省ごとに詳細

を見ていくと、昨年末時点での65歳以上人口比率

の上位3省は、上から順に遼寧・山東・江蘇で、

それぞれ12・8%以上です。また、新規立ち上げ

の養老サービス企業数が多かった上位2省は江蘇

・山東で、その数はどちらも300件を超えています。ちなみに3位は北京。私が生活している上海は、14位98件という結果でした。

これらの現地データを見てみると、新規養老サービス企業が多く設立されている地域は、ほぼ中東部に集中し、西部は少

ない状況であることがわかります。この現象は人口密度や経済発展水準とも深く関係しています。西部は人口が少なく生活水準も低いいため、個人支払い能力に乏しく、それゆえ他の業界と比べて投資利回りの低い養老サービス企業は進出しにくい地域だと言えます。

新規企業は中東部に集中

このような状況下で民政部等が発表した「政府と社会資本提携の養老サービス発展の実施意見について」が政府に支持され、官民の養老プロジェクト（養老PPP）が推

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

進されました。昨年9月時点でのプロジェクト数は103件だったのが今年には137件に増加しました。政府主導で業界の発展寄与に努めながら、格差あるサービスの均一化・向上を進めることも、必要不可欠な事だと感じました。